

# ～文化的歴史的所産を巡る～ **残したい情景**

## 第23回 秋田県山本郡藤里町



一般財団法人 日本不動産研究所

7人であったが、19（令和元）年7月時点では3214人まで減少している。また、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、40年（令和22年）には1796人になると推計されており、過疎化の進行が激しい。

あるがままの自然

多くのハシ根が  
のまどかに  
閉校した。

# 鉄道も国道もない町の宿泊体験

世界自然遺産である曰神山  
地の麓にある藤里町は、秋田  
県の内陸北部に位置し、行政  
区域の大半は山林が占め、自  
然豊かな町である一方、町内  
に鉄道はない、国道もない。

電光半透の季風

実際に体験するため、子供達の夏休みにあわせて、友人と多くの子供達を連れて宿泊した。私を含め同行者は秋田市在住である。首都圏からみれば秋田市も田舎であるが、秋田市でもなかなか体験する

心優しい地元の方から馬肉ホルモンの差し入れもいただいた。色は独特だが、酒に合う。夜中の肝試しでは、何を出ないのに喰く子供達。無数

童心に帰る

が実る秋には農作業体験。辺り一面が真っ白となる冬には雪遊びやさりげたんぱ作り。観光地化されていないので、四季彩りの季節を活かした、この町の文化、自然といった原風景を感じることができる拠点となる施設である。

うるさいし、埃が立つから  
だ。都会では体験することが  
できない川遊び。子供達の中  
にはヤスで突き、ヤマメを  
獲つた子もいた。校門前での  
バーベキュー。ヤマメも美味  
しくいだいた。水道水もす  
ごく美味しい。

温泉は、私の思いとは全く異  
なる距離感であった。

帰りがけに、次にみんなで  
行きたいところを聞いてみ  
た。すると返ってきたのは、  
屋内型複合レジャー施設の  
「ラウンドワン」。

の星空の下、色々な生き物の  
心地よい鳴き声。

A black and white photograph capturing a group of approximately ten children playing in a shallow, rocky stream. In the center-left, a young boy with short hair, wearing a light-colored t-shirt with a graphic, looks directly at the camera. To his right, another boy with a shaved head and a dark t-shirt stands partially submerged. Further back, more children are visible, some swimming and others standing in the water. The stream flows through a lush, green landscape with dense bushes and trees lining the banks.

## 藤琴川で遊びを満喫する子供達